

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月1日

上場会社名 株式会社エーアイ 上場取引所 東  
 コード番号 4388 URL https://www.ai-j.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣飯 伸一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理グループ統括 (氏名) 前田 忠臣 TEL 03 (6801) 8402  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	293	△11.0	△24	—	△23	—	△16	—
2022年3月期第2四半期	329	—	43	—	40	—	30	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△3.28	—
2022年3月期第2四半期	6.11	—

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を2022年3月期第1四半期の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,245	1,184	95.1
2022年3月期	1,354	1,279	94.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,184百万円 2022年3月期 1,279百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	650	△14.1	10	△91.1	10	△90.9	8	△90.4	1.59

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	5,168,000株	2022年3月期	5,168,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	188,469株	2022年3月期	120,069株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	5,027,814株	2022年3月期2Q	5,047,967株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済社会活動の正常化が進むものの、長期化するロシア・ウクライナ情勢の懸念等により、世界的な原材料価格の高騰や半導体の不足、金融資本市場の変動等、依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社を取り巻く環境においては、第1四半期に引き続き、当第2四半期におきましても、「緊急防災・減災事業債」における地方交付税措置が、当初令和2年度までとされていたことに伴い、防災案件が2021年3月期までに集中したことによる反動に加え、新型コロナウイルス等の影響による半導体不足が影響し、防災メーカーの入札控え等により、防災案件の売り上げが低調に推移しました。また、コロナ禍に伴う企業のテレワーク、学校のオンライン授業におけるeラーニング教材・動画等のナレーション作成用途での「AITalk® 声の職人®」、 「AITalk® 声プラス®」等のパッケージ製品の需要増加も落ち着きが見られ、計画を下回って推移しました。「AITalk® 声の職人®S」のリリースに伴い、販売記念キャンペーンを実施しましたが、防災案件及びパッケージ製品の不足分をカバーするに至りませんでした。

費用面につきましては、販売促進費の抑制等により当初予定は下回りましたが、売上高が業績予想を下回ったことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益の全てにおいて、赤字を計上いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は293,180千円（前年同期比11.0%減）、営業損失は24,001千円（前年同期は営業利益43,252千円）、経常損失は23,162千円（前年同期は経常利益40,432千円）、四半期純損失は16,471千円（前年同期は四半期純利益30,818千円）となりました。

なお当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、特性に応じた3つの区分別の売上高につきましては、法人向け製品118,769千円（前年同期比27.2%減）、法人向けサービス93,515千円（前年同期比12.6%減）、コンシューマー向け製品80,895千円（前年同期比36.7%増）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して109,288千円減少し、1,245,643千円となりました。これは主に、現金及び預金が125,508千円減少したことによるものです。

#### （負債）

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して14,349千円減少し、60,977千円となりました。これは主に、その他に含まれる未払金が15,049千円減少したことによるものです。

#### （純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して94,940千円減少し、1,184,665千円となりました。これは主に、自己株式が60,801千円増加したことと、利益剰余金が34,138千円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は95.1%（前事業年度末は94.4%）となりました。

### （3）キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前事業年度末と比較して125,508千円減少し、1,053,967千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により支出した資金は、4,817千円となりました。これは主に、売上債権の減少額12,188千円、法人税等の還付額8,865千円があったものの、税引前四半期純損失23,162千円が計上されたことによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動により支出した資金は、2,655千円となりました。これは主に、ホームページリニューアルの無形固定資産の取得による支出2,505千円によるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動により支出した資金は、118,035千円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出60,801千円、自己株式の取得のための預託金の増加額39,242千円によるものです。

### （4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の業績予想については、2022年10月18日公表の「2023年3月期 第2四半期（累計）および通期の業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,179,476	1,053,967
受取手形、売掛金及び契約資産	92,966	80,778
商品及び製品	5,361	5,907
仕掛品	1,530	3,163
原材料及び貯蔵品	2,862	2,515
未収還付法人税等	8,704	—
その他	22,502	54,880
流動資産合計	1,313,404	1,201,213
固定資産		
有形固定資産	18,184	15,402
無形固定資産		
ソフトウェア	3,928	8,192
ソフトウェア仮勘定	3,651	—
無形固定資産合計	7,579	8,192
投資その他の資産	15,763	20,833
固定資産合計	41,527	44,429
資産合計	1,354,931	1,245,643
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,555	8,417
リース債務	689	703
未払法人税等	3,911	2,578
契約負債	4,294	19,363
前受収益	14,291	—
その他	41,944	28,160
流動負債合計	72,686	59,222
固定負債		
リース債務	2,109	1,754
長期前受収益	530	—
固定負債合計	2,639	1,754
負債合計	75,326	60,977
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	151,481	151,481
資本剰余金	206,135	206,135
利益剰余金	1,121,808	1,087,670
自己株式	△199,820	△260,621
株主資本合計	1,279,605	1,184,665
純資産合計	1,279,605	1,184,665
負債純資産合計	1,354,931	1,245,643

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	329,318	293,180
売上原価	56,573	77,726
売上総利益	272,744	215,453
販売費及び一般管理費	229,491	239,454
営業利益又は営業損失(△)	43,252	△24,001
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	5
為替差益	1	741
講演料収入	40	87
還付加算金	—	76
未払配当金除斥益	—	42
営業外収益合計	47	953
営業外費用		
支払利息	66	53
自己株式取得費用	—	60
支払手数料	2,800	—
営業外費用合計	2,866	114
経常利益又は経常損失(△)	40,432	△23,162
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	40,432	△23,162
法人税、住民税及び事業税	8,041	144
法人税等調整額	1,573	△6,836
法人税等合計	9,614	△6,691
四半期純利益又は四半期純損失(△)	30,818	△16,471

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	40,432	△23,162
減価償却費	4,639	4,825
受取利息及び受取配当金	△5	△5
支払利息	66	53
売上債権の増減額 (△は増加)	81,311	12,188
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,417	△1,832
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,547	862
未払金の増減額 (△は減少)	△21,380	△12,441
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△701	△1,093
契約負債の増減額 (△は減少)	—	15,068
前受収益の増減額 (△は減少)	2,341	△14,291
長期前受収益の増減額 (△は減少)	△159	△530
その他	△9,281	7,269
小計	90,299	△13,088
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△66	△53
法人税等の支払額	△33,622	△546
法人税等の還付額	—	8,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,615	△4,817
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,244	△150
無形固定資産の取得による支出	△3,121	△2,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,365	△2,655
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△58	△60,801
自己株式の取得のための預託金の増減額 (△は増加)	—	△39,242
配当金の支払額	△42,836	△17,651
リース債務の返済による支出	△327	△341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,222	△118,035
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,027	△125,508
現金及び現金同等物の期首残高	1,101,358	1,179,476
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,110,386	1,053,967

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。